

科目	動物行動学 I		
担当講師 大塚敦子 実務経験有 統一認定動物看護師 動物病院勤務歴 20 年			
開講年次	授業形態	選択/必修	授業時間
動物看護、動物管理学科 1 年次後期	講義	必修	30
授業目標 生物学上の観点から犬と猫の発生起源と歴史を理解し、基本的行動の意義または機序を学ぶ。行動の発達ステージと発達過程、生得的行動、習得的行動、個体と社会的行動、コミュニケーション行動とボディランゲージ、性行動を理解できる。しつけトレーニングでは基本的なしつけを理解し、適正飼育と人と動物の共生に寄与することを学ぶ。また犬猫の問題行動についても理解する。			
授業概要 犬猫の家畜化の歴史と種類、コミュニケーションとしつけトレーニング、問題行動への対応法などを学ぶ。			
成績評価の方法 評価の基準は筆記試験による。また本科目受験には出席率が 3 分の 2 以上であることが必要。試験は 80～100 点が A 評価、70～79 が B 評価、60～69 までを C 評価とし、60 点未満は再試とする。再試においては 80 点以上を合格とし評価は C となる。			
教 材 動物看護コアテキスト 4 巻 (P 2～P 29 ファームプレス) トレーニング学、ペット社会学 (日本ペットビジネススクール協会) 講師資料			
授業計画 毎週木曜日 2 限目 10:50～12:20			
回	授業内容		
1	動物行動学の基礎	行動学の歴史、研究	
2	〃	〃	
3	イヌ、ネコの行動発達	胎生期、新生子期、移行期、社会化期 若年期、成熟期、高齢期の時期と特徴	
4	〃 行動特性	生得的行動についてそれぞれの行動の意味、 目的を知る	
5	トレーニングとは	(トレーニング学) P 303～P 307	
6	飼育犬の社会性を養う	(〃) P 310～P 312	
7	イヌの日常生活に必要なしつけ、トレーニング	イヌの基本的なしつけ、トレーニングについて学び飼い主 指導に活かす	
8	その他のトレーニング、ドッグスポーツ	(トレーニング学) P 339～P 352	
9	イヌの基本服従訓練	(〃) P 316～P 334	
10	〃	〃	
11	〃	〃	
12	イヌの問題行動	問題行動の概要とタイプ、おおまかな原因および対処 (治療) 方法	
13	〃	〃	
14	まとめ		